

早生品種はすでに刈取適期に入っています！ 中生・晩生品種も間もなく適期です！ 籾水分や青籾歩合を確認し、刈取りを進めましょう！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

山形地方気象台によると、8月の平均気温は観測史上最も高くなりました。イネの登熟は一気に進んでいます。

また、登熟初期にもかなりの高温で推移したため、胴割粒多発の危険性が高くなっています。

8月31日発表の2週間予報によると今後も高温で推移する見込みです。速やかに圃場の籾水分と青籾歩合を確認し、適期であることが確認された場合は刈取りを進めましょう。

◎「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」の登熟状況

8月29日時点の登熟歩合は、県内平坦部の平均で「はえぬき」**77.7%**、「つや姫」**59.9%**、「雪若丸」**80.3%**となっており（表1）、登熟は平年よりかなり早く進んでいて、かつ、中生品種は終盤に近づいています。

農業総合研究センター作況ほ（山形市）の「はえぬき」は、8月30日時点で登熟歩合73.1%、青籾歩合45.2%、籾水分28.2%となっています（表2）。本年は、登熟歩合に対して青籾歩合は高い傾向にあり、籾水分は平年よりかなり低くなっています。現在も高温で推移しており、急激に仕上がる可能性があるため、水稻の状態をきめ細かに観察して刈取始期を見極めましょう。

表1 8月29日時点の登熟歩合（%）

	はえぬき	つや姫	雪若丸
本年	77.7	59.9	80.3
平年	56.6	30.0	57.4
平年比	+21.1	+29.9	+22.9

各農業技術普及課の調査結果平均

表2 農業総合研究センター作況ほ「はえぬき」の状況

調査日	積算温度（℃）	登熟歩合（%）	青籾歩合（%）	籾水分（%）
8/30	821	73.1	45.2	28.2

◎今後の技術対策

- （1） これまでに経験したことない高温登熟となっており、籾水分が急激に低下しています。圃場の状況を速やかに確認し、籾水分、青籾歩合、積算温度等を目安に刈取始期を判断します。適期であることが確認されたら、速やかに刈取りに入りましょう。
- （2） 刈取り後の籾水分が低いからといって放置せず、速やかに乾燥機に張り込み、ヤケ米等の事故を防ぎましょう。
- （3） 胴割粒が発生しやすい状況であるため、収穫時の籾水分が低い場合は日中の加温乾燥は避け、常温で通風乾燥を行い、過乾燥にならないようにしましょう。
- （4） 立毛中で胴割粒が多いと予想される場合は、毎時乾減率を0.6%以下とし、胴割粒増加を防ぎましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！